

雨宮健先生のご紹介

森 棟 公 夫

市村先生どうもありがとうございました。

それでは雨宮先生をご紹介します。実は雨宮先生は、私がスタンフォード大学で大学院の教育を受けたときに指導を受けた方です。1935年に日本でお生まれで、国際基督教大学を出られたあと、ジョンズホプキンス大学で大学院にいかれ、そこで PhD の学位をとられました。その後はほぼスタンフォード大学で研究を続けられ教鞭をおとりになりました。日本でも、一橋大学でも3年教えられています。

先生のお話はこれから拝聴するわけですが、どういう研究をされているかということをお話しても難しいと思います。なにしろ日本人の経済学者のなかで、世界に論文が知られていることが一番多い先生です。昨日の研究会でも紹介し



講演される雨宮健先生

ましたが、最近はどのくらい論文が引用されているかというサイテーションインデックスの統計でトップになっている方です。昨日は、お名前のアルファベットが一番前というので一番になったのでしょうと冗談を言われていましたが、そうではなくて引用回数が一番です。

これはご紹介するのに一番簡単ではないかということでお話させていただいた次第です。専門研究もご活発に続けられていて、昨日も非常に高度な研究論文を3本ご紹介いただきました。1935年のお生まれですからお年は68歳になられていると思いますが、研究の方も昔にかわらない馬力でされておられます。

今回は経済学研究科の21世紀 COE の予算で雨宮先生をお招きすることができ、1週間のあいだ一緒に研究をしていただいています。おいそがしい中で日本にまで来ていただいた雨宮先生には深く感謝する次第であります。それではどうぞよろしく申し上げます。